

乙（論文博士）

博士論文のインターネット公表留保申請書

20____年____月____日

明治大学大学院

_____研究科長 殿

氏名 _____

私が執筆した博士学位請求論文について、やむを得ない事由があるため、明治大学学術成果リポジトリにより「全文」を公表することを留保し、代わりに「要約」を同リポジトリにより公表することを希望します。

論 文 題 名	
---------	--

漏れのないように記載ください。

I 「やむを得ない事由」について

- (1) 該当する下記の項目の□にチェックを入れてください。（複数選択可）
- (2) その内容について、具体的に記載してください。
- (3) 記載した内容を裏付ける資料等を本申請書に添えて提出してください。

- 1 当該論文に立体形状による表現を含むため。
- 2 個人情報に係る制約があるため。
- 3 著作権に係る制約があるため。
- 4 当該論文は既に出版刊行されており、インターネットでの公表により明らかな不利益が発生するため。
- 5 近く当該論文がインターネットでの公表により明らかな不利益が発生するため。
- 6 当該論文は学術ジャーナルに既に掲載されており、インターネットでの公表により明らかな不利益が発生するため。
- 7 近く当該論文を学術ジャーナルに掲載する予定があり、インターネットでの公表により明らかな不利益が発生するため。
- 8 当該論文に係る内容について、特許や実用新案を申請中であり、インターネットでの公表により明らかな不利益が発生するため。
- 9 当該論文に係る内容について、近く特許や実用新案を申請する予定があり、インターネットでの公表により明らかな不利益が発生するため。
- 10 上記1～9には該当しないが、インターネットでの公表により明らかな不利益が発生するため。

該当する項目にチェック

【やむを得ない事由の具体的説明】

前のページでチェックした項目（やむを得ない事由）について、

詳細に説明の記載をしてください。

なお、記載を裏付ける資料がある場合には、
必ず本申請書に添付してください。

* 上欄に記載せず別紙による提出も可とします。別紙による提出の場合は A4 判サイズ of 用紙にて作成し、氏名を付記すること。

本申請書提出日から 5 年後の同じ日は、
5 年以内の日を含めません。

II 「留保期限」について

_____年 3 月 31 日まで、
インターネットでの博士論文（全文）公開を留保することを希望する。

* 「留保期限」の年月日は、「本申請書の提出日から 5 年以内の、任意の年の 3 月 31 日」とします。
ただし、「留保期限」以前にやむを得ない事由が解消された場合は、速やかに研究科事務担当者へ申し出て、インターネット公表の手続きをとること。

以 上

研究科長		専攻主任		事務担当	
記載不要					

研究科委員会 承認日 年 月 日
大学院委員会 承認日 年 月 日